幕別町　台風の接近・上陸に伴う洪水を対象とした避難情報着目型タイムライン（防災行動計画）
【　十勝川水系途別川　途別川水位観測所　】

十勝川水系途別川
帯広建設管理部

※避難情報に関するガイドライン（内閣府：令和3年5月）を参考に作成。また、北海道開発局からの情報もあるが、割愛している。
※このタイムラインは、既往洪水による気象状況、市町村の防災業務に関する計画等を参考に記載しており、実際の洪水では地域・事象等により異なることがある。また、今後の洪水を踏まえ、見直しを実施するものである。

途別川
水位観測所

R8. 5改訂

警戒レベル	水位情報（現地情報）	気象情報（予測情報）	帯広建設管理部（事業課）	幕別町	住民等		
					○水防訓練への参加 ○隣近所との相互協力関係の醸成 ○防災グッズの準備 ○家族との連絡方法確認	-72h（3日前）	
レベル1	途別川水位観測所	○台風情報 ○十勝地方気象情報 ○台風に関する説明会（帯広測候所）	○「早期注意情報」を確認 ○施設（樋門等）の点検・操作確認 ○応急対策用資機材等の確認 ○協力機関の体制確認 ○工事実施中の請負業者への連絡	○流域雨量指数（6時間先までを予想）を確認 ○洪水キキクル（3時間先までを予想）を確認 ○水防団等への注意喚起 → 【消防・水防団待機の連絡】 ○学校等の休校判断、体制確認（教育長、各学校長） ○水位情報の確認（10分毎水位データ） ○河川パトロール ○避難路の点検	○ハザードマップ等による避難所・避難ルートの確認 ○災害・避難カードの確認 ○テレビ、ラジオ、インターネット等による気象警報等の確認 ○自宅保全	-48h（2日前）	
	水防団待機水位到達 途別川水位観測所（水位46.25m）	【警戒レベル1】 早期注意情報	【第1非常配備】 本部は、水防警報及び水位周知に関する発表を関係出張所等・危機対策室・本庁（維持管理防災課、危機対策課）に通知			-24h（1日前）	
	水防警報（待機）水位到達 途別川水位観測所（水位46.48m）	【警戒レベル2】 レベル2氾濫注意報	水防警報（待機） → 振興局危機対策室 ○（必要に応じ） 河川利用者へ注意喚起	第1次警戒体制及び第2次警戒体制 ○流域雨量指数、洪水キキクルを随時確認 ○（第1）連絡体制確立、関係部課へ状況通知【防災環境課、地域振興課】 ○（第1）第2次関係部課自宅待機（状況に応じ全職員自宅待機）【関係各部課】 ○（第2）情報収集（気象水象）、情報連絡（国、道、関係部課）【防災環境課、地域振興課】 ※1時間毎に河川水位、雨量、高水短時間予報を確認 ○（第2）情勢に対応する措置の指示（巡回等）【各部課】 ○消防・水防団指示 → 【消防・水防団】自宅待機、連絡要員配置、管理職配置 ○河川占用工作物撤去　○避難所開設準備 ○災害対策用機械出動要請　○夜間に避難指示等の発令が予想される場合	○テレビ、ラジオ、インターネット、携帯メール等による大雨や河川の状況を確認		
レベル2	氾濫注意水位（レベル2水位）到達 途別川水位観測所（水位46.71m）		指定河川洪水予報　氾濫注意情報【 警戒レベル２相当情報［河川氾濫］】 水防警報（準備） → 振興局危機対策室 ○応急対策用資機材等の準備 ○通信・輸送の確保	第1種非常配備体制 ・要配慮者（施設）への自主避難を促す（避難対応の準備又は検討） ・自主避難所の開設の検討 ○首長又は首長代理者の登庁　○管理職員の待機・集合・配置 ○所掌事務の情報収集、連絡体制強化、必要措置※【各部課】 ※初期災害対応、資機材点検（災害予想地への現地配置）、協力機関連絡体制強化、住民連絡等 ○消防・水防団へ指示 → 【消防関係】消防職・団員を班員の招集、その他待機 重要水防箇所、水防上注意箇所の非常監視警戒 ○住民への注意呼びかけ　【水防団】現地パトロール（重要水防箇所優先） ○警戒すべき区域の巡回　・状況報告（水防管理者、河川管理者へ） ○被災状況確認、巡視・水防活動　・必要に応じて水防活動実施 状況報告 ○必要に応じ、助言の要請　○避難が必要な状況が夜間・早朝の場合は、高齢者等避難の発令判断	○外出の中止、家族の動向確認 ○避難の準備（高齢者等） ○氾濫に関する情報に注意		
			○被災情報の提供		○高齢者等避難の覚知		
		（災害対策地方連絡本部設置に伴い） 【第2非常配備】					
レベル3	避難判断水位（レベル3水位）到達 途別川水位観測所（水位47.25m）		水防警報（出動） → 振興局危機対策室	第2種非常配備体制　高齢者等避難 【警察・消防】本部に集合 【消防】全職員の招集、警報の周知、出勤準備、監視警戒体制 災害対策本部設置 ○各部は指定の所掌事務により活動（情報収集、連絡、必要な措置※）【各部長】 ※災害状況周知、直ちに応急活動できる体制構築、被災状況報告 ○高齢者等へ避難情報　○避難所開設準備、開設 ○応急対応体制確認 ○被災状況確認 避難状況報告（ホットライン） ○避難が必要な状況が夜間・早朝の場合は、避難指示の発令判断	高齢者等避難・避難指示の伝達 ○電話又はFAX ○北海道防災情報システムへの入力 ・TV放送 ・ラジオ放送 ・エリアメール ・緊急速報メール ○防災行政無線 ○広報車 ○消防車 ○サイレン	危険な場所から高齢者等は避難	-3h42m
	氾濫危険水位（レベル4水位）到達 途別川水位観測所（水位47.78m）	【警戒レベル3相当情報】 レベル3　氾濫警戒	指定河川洪水予報　氾濫警戒情報【 警戒レベル３相当情報［河川氾濫］】 【 警戒レベル3相当情報[河川氾濫] 】 指定河川洪水予報の水位予測により、水位が氾濫危険水位（レベル4水位）に到達する予測が発表されている場合（急激な水位上昇による氾濫のおそれのある場合）		○避難の準備（高齢者等以外） ○住民の自主避難の実施	避難所開設時間 -83min	
			○（必要に応じ）応急対策の実施 （災害対策地方本部設置に伴い） 【第3非常配備】		○避難指示の覚知		
			水防警報（指示） → 振興局危機対策室	避難指示	危険な場所から全員避難	-2h01m	
		【警戒レベル4相当情報】 レベル4　氾濫危険警報	指定河川洪水予報　氾濫危険情報【 警戒レベル４相当情報［河川氾濫］】 【 警戒レベル4相当情報[河川氾濫] 】 氾濫開始相当水位である48.72mに到達することが予測される場合 （計算上、個別に定める危険箇所における水位が堤防天端高（又は背後地盤高）に到達することが予想される場合）				
レベル4	計画高水位到達 途別川水位観測所（水位48.48m）		○氾濫危険水位の到達報告（ホットライン）	○氾濫危険水位の到達覚知（ホットライン）　○要配慮者施設に水位周知伝達 ○対象地域に避難指示 ○避難指示発令等の周知 ○警察、消防への支援要請 → 【警察・消防】要請に従い行動 ○安否確認　○被災状況確認、避難状況報告（ホットライン）	○立退き避難又は屋内安全確保	-0h44m	
		※台風接近・上陸					
レベル5	氾濫発生水位 途別川水位観測所（水位48.72m）	氾濫発生	指定河川洪水予報　氾濫発生情報【 警戒レベル５相当情報［河川氾濫］】	○水防団自主避難 緊急安全確保 ○各対策部の指定の所掌事務活動　○大雨特別警報の住民周知 ※各対策部の職員は、全員をもって所掌する災害対策にあたる体制 ○破堤の恐れなど重大な事象を覚知（ホットライン） ○氾濫の発生及びその状況を覚知（ホットライン） 【消防】消防職、団員の全員を招集。水防活動、避難救助活動 ○氾濫発生情報を関係機関へ通報 ○振興局に自衛隊の派遣を要請 ○避難者への支援、逃げ遅れた住民の救助	○緊急安全確保の覚知 避難完了 命の危険、直ちに安全確保 ○未避難者の緊急避難 ○緊急安全確保 避難解除	0h	
		【警戒レベル5相当情報】 レベル5　氾濫特別警報	○破堤の恐れなど重大な事象が判明（ホットライン） ○氾濫の発生及びその状況（ホットライン） ○被災状況の把握				